



門協 輝明 議員

転居時の世帯の扱いは

町長

一定の基準がある

【門脇】住所が同一であれば、先住者の世帯に加わらなければ転居届を受理できないか。
 【町長】前提としてその住所に住む意思が必要で、日常生活に不可欠な要件が別でなければ別世帯にはできない。
 昨今、少子高齢化などにより施設入所した遠縁の親戚をやむをえず自身の住所に住民登録する例が増加している。
 住民登録ができないと、行政サービスを受けられない場合も懸念される。そのため、一定の基準を設け、別世帯として取り扱いができるようにした。
 【門脇】日常業務において住民ファーストの徹底を。
 【町長】常に住民目線に立ち、相手の気持ちを思いやる窓口対応でなければならない。



観光振興を担う大山観光局の案内所

町の意思の伝達は

町長

言うべき所で言う

【門脇】大山観光局に期待する役割は。
 【町長】①イベントの実施、体験型ツアーの企画運営など②地域の情報発信③町内観光素材の開発とガイドなどの人材育成である。
 【門脇】大山観光局の理事会や総会で町の意思を伝えていくか。
 【町長】議事録に記載はないが、それ以外の場で伝えている。
 【門脇】町と議会の関係と同じで、言うべきところで言う緊張感のある関係を持つべきだ。
 【町長】そう思う。

給食費の公会計化は

教育長

検討する



給食は食育の柱

【門脇】給食費の徴収方法は。
 【教育長】給食費の決定から精算までを大山地区・名和地区は学校給食センターが、中山地区では各学校が行っている。
 【門脇】公会計化の動きをどう考えるのか。
 【教育長】事務量や職員配置などをふまえ検討する。
 【町長】県で高校通学費補助や保育の副食費補助が検討されている。新しく生まれる財源で給食費全額補助も考えられるので検討する。